

大 雪 山

○ 火山活動評価：静穏な状況

火山活動は静穏な状況です。

○ 概況

・ 火口や噴気の状況（図 1～3）

2 日に北海道開発局の協力を得て上空からの観測を実施しました。

旭岳地獄谷爆裂火口では複数の噴気孔から弱い噴気が観測され、赤外熱映像装置¹⁾による観測では、各噴気孔に対応する高温域が認められました。噴気や高温域の状況は、これまで（前回：2007 年 2 月）と比べて特に変化はありませんでした。

御鉢平カルデラでは噴気は認められず、赤外熱映像装置¹⁾による観測でも地熱域は認められませんでした。

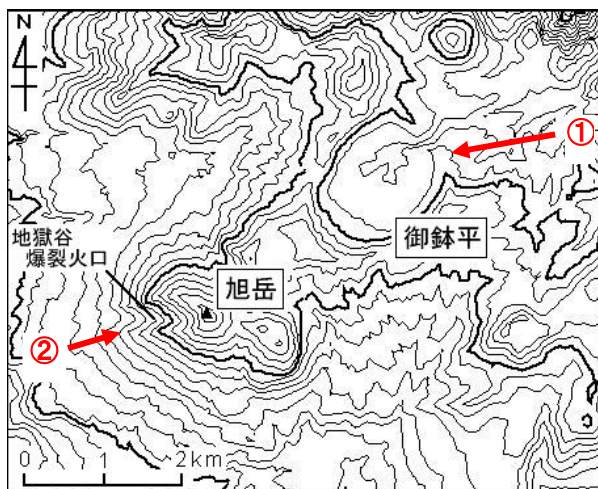


図 1 大雪山 火口周辺図



図 2 大雪山 御鉢平
(7 月 2 日 図 1 ①方向から撮影)

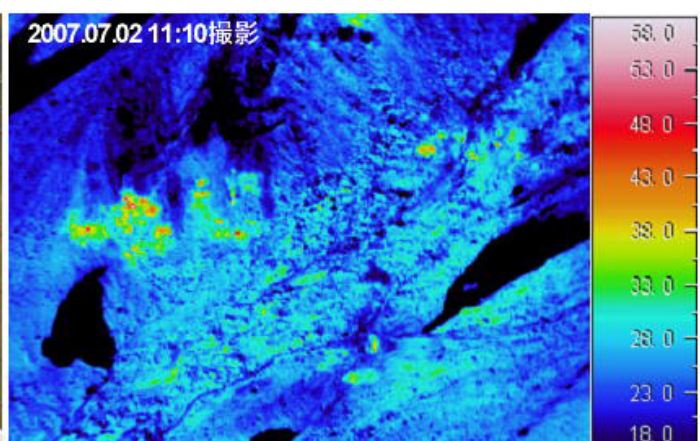


図 3 大雪山 赤外熱映像装置¹⁾による地獄谷爆裂火口の表面温度分布
(7 月 2 日 図 1 ②方向から撮影)

1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、熱源から離れるほど測定される温度は実際の温度よりも低い値になってしまいます。また、噴煙や霧で測定対象が見えにくい場合には温度測定ができないこともあります。